

「口演童話」関係資料収集・公開プロジェクト

利用音源：大分県立先哲史料館所蔵音源



●久留島武彦翁の口演● あざみの花

## 【はじめに】 武彦翁がまいた「夢のタネ」、武彦翁や口演童話の関係資料・情報があればご一報を

■ 今から半世紀前、日本各地を口演童話を語り「夢のタネ」を子供の心に蒔いて歩いた、お話の上手なおじさんがいました。明治大正昭和と日本にとって厳しく悲しい時代に「子供こそが次の世代の宝である」の信念のもと、児童文化の発展に尽くした口演童話家、それが久留島武彦です。

■ 口演童話とは子供たちを前に童話を語る児童文化の一つで、

今日盛んな絵本の読み聞かせとは違い、口演者（語り部）は身ぶり・手ぶりと言術だけで聴衆をひきつけなくてはなりません。対象は子供たちなので、年齢層・時季・会場・地域などの条件によって、話し方には変化が生じます。

■ このため、翁本来の足跡を知る方法は、活字化された講演録や伝記に加え、録音された“声の響き”に触れる必要が求められます。

明治末期から昭和 30 年代にかけて、全国のこどもたちを魅了したその話術の片鱗を、このデジタルブックでお楽しみ下さい。

■ 久留島武彦倶楽部では、書物では表現することが難しい口演童話における『声や響き、言葉の間』の大切さを知ってもらうため、武彦翁本人の肉声をデジタル化する事業を進めており、さらなる音声資料デジタル化をめざし口演童話関係の資料を収集しています。資料や情報があったら当倶楽部にお寄せ下さい（連絡先は巻末に記載）。みんなで後世に残るデジタル資料を充実させていきましょう。

**久留島武彦倶楽部 主宰 桑野 英司**

**【口演の聞き方】** 次ページ以降、ページ左下にON、OFFボタンがあるページでボタンをクリックすると、音声の再生・停止ができます。最初にONボタンを押すと「マルチメディアコンテンツに関する信頼性を管理」という画面が立ち上がります。内容を確認した上で、その画面にある「再生」ボタンを押してください。音声の再生が始まります。

（音の大きさは、パソコン本体の「音量調整」で行って下さい）

## ■ あざみの花

昔、スコットランドにロバート・ブルースという戦（いくさ）好きの王様がありました。

今日も戦、明日も戦で、朝お起きになると、もうすぐに「それ鎧を持って、馬を引けー」「前へー」と、お城の門をさっと開かせて、威勢よく押し出すのがお決まりでしたが、

今日の戦はどうしたか、はじめから旗色が悪く、

お昼ごろから負け戦となって、

夕暮れ方には王様のお側に残った兵（つわもの）はわずかに 32 人、

それも皆、

半死半生で、刀を杖にジリジリ、ジリジリ、王様を中に川のそばまで退却してまいりました。

これを見た敵の軍勢は、「それロバート・ブルースだぞ、逃がすな」と、

とき声をあげて追っかけてきましたが、

数は少なくとも一生懸命というものはおそろしいものです。

スコットランドの兵隊は

王様を真ん中にひとかたまりとなって、右に左に荒れまわる。

さすがの大勢の敵の兵隊も、どっと崩れて退却しました。

「よし、よし。さあこの間だ。この間に、早く川を渡って小山に登れ。小山に登れ」と、  
一同を山の上に登らせました。

「ハアー、ハアー、ハアー、皆よく戦ったぞ。王は心から感謝するぞ。

それ、今のうちに手傷の手当をしろ。

おっ、貴様はあの崖の端（はな）から見ておって、敵が川を渡り始めたならばすぐ報告するのだぞ」

「はい、あっ、あっ、王様、王様、敵は山をめぐる火をたきはじめました。

おっ、天幕をはりはじめました。

一つ、二つ、三つ、おっ、四方を取り囲んで、だんだんに陣を張りはじめました」

「うーん、そうか。よし、よし、それなら彼奴（きゃつ）らも今夜ひと休み、

ここに休んで、襲撃は夜明けだな。幸せだ。喜べ。

皆も休む時間ができたぞ。よーし、今夜 12 時までオレが皆に代わって起きていてやろう。

12 時から 2 時間交替に、それぞれ代わるがわる起きるのだぞ。

さあ皆、今のうちにぐっすり休め。休め」・・・という王様のありがたいお言葉に

どうせ明日はない命、今ここで十分に英気を養ってと、

兵隊どもは草を枕に身を横にしますと、

傷の痛みも、戦の疲れも、何もかも忘れてぐっすり寝入ってしまいました。

「グー、グー」 夜はしだいにふけて、敵のかがり火も消えぎえに、  
 空のお星様の光までがなんだか眠そうに見えるころには、  
 王様から申し継ぎを受けた二代わりめの兵隊が見張りに立っておるのであります。  
 見張りの兵は夜露に濡れた剣をぬぐいながら、一度は敵の様子を見回したようでしたが、  
 よほど疲れがひどかったのでしょう、  
 フラリフラリと立ちながら居眠りを始めると、  
 やがてぺたりと腰をおとし、そのまま横に寝こけてしまいました。

山の上には今、だれひとり目を覚ましているものはないのです。  
 この時をねらっていたのか、  
 敵の兵隊の百人ばかりが静かに行動をおこしました。  
 「しっ、しっ、静かに。音をたてな（たてるな）。  
 ロバート・ブルースにさとられな（さとられるな）」

闇にも光るは、その二つの目です。寝鳥（ねとり）の羽音にもひきたてるのは、その耳です。  
 こうして、ひと足ひと足にきざんで、  
 いつか皆、山の上に登りつきました。  
 おっ、不思議なことには、そこに人っ子ひとりいないのです。

いないのではなくて、そこから4、5メートル先には、  
ロバート・ブルースはじめ32人が何も知らずに寝こけているのですが、  
闇がスコットランドの運命を守ったのです。

「よおーっ、いないぞ」「逃げたかな」「いや、そんなはずはない」「こりゃ方角が違ったかな」  
「おい、気をつけて。不意をやられな（やられるな）」と、  
この時突然、敵の兵隊の一人が「あっ、イタイッ」と、飛び上がったのです。

静かな夜中にこのとんきょうな叫び声は、寝ぼけておった見張りの兵隊を呼び覚ますのには十分でした。  
ハッと首をあげてみると、何かは知らんが黒いものがムクムク、ムクムク。  
「来たな」と跳ね起きると、「敵襲ーっ、敵襲ーっ」

王様はじめ32人、さてこそとゴムまりのように跳ね起きると、  
盾を左に剣を右に、地の底から飛び出した悪魔のように右に左に斬り回りました。  
「ワー、イタイタイターッ」と、  
不意に驚いた敵の兵は、度を失って、防ぐよりも逃げる者で大崩れになって引き下がりました。

この間を縦横無尽に斬って斬って斬りまくり、とうとう大勝利。勝どきを三度あげて、  
ロバート・ブルースは無事に凱旋することができました。

そこでそれぞれ働きにしたがって、ごほうびを賜るとき、  
 この大勝利のきっかけが、  
 敵の一人が  
 暗闇の中で鬼あざみのトゲトゲを踏み付けたので覚えず「イタイッ」と叫んだのが、  
 見張りの兵の夢を破ったのだということがわかったときに、  
 「あーっ、そうか」  
 王様は、さっそくその鬼あざみをお取り寄せになると、  
 じっとご覧になっておりましたが、二つの目から、ポロ、ポロと涙がこぼれました。

「ああ、この花が、このトゲが、わがスコットランドの国を守り、わが命を助けようとは、  
 今日の日までも知らなかった。  
 王は衷心（ちゅうしん）から感謝するぞ。  
 よし、これから後、  
 スコットランドの名誉と希望と栄光は、  
 汝（なんじ）によりて代表することにしようぞ。  
 皆、一同の者もこの花を胸に飾れ。  
 吹け、高らかに、  
 喜びのブーケ」

## ■久留島武彦翁

久留島武彦は、明治7年、豊後森藩12代藩主の孫として現在の大分県玖珠町森に誕生しました。巖谷小波とともに、わが国の近代児童文化の礎を築いたことで知られ、口演童話や児童劇の開拓者でもあります。明治末期に、児童の社会教育機関としてお伽倶楽部を創設し、この全国普及にも努めました。童話ラジオ第1号も武彦の声によるもので、彼は書く童話作家よりも、話す童話作家の道を選びました。こどもの膝の前の友達になりたいと考え、大正期から亡くなる昭和30年代まで、盛んに全国を口演行脚しています。昭和35年没(享年86歳)。



## ■久留島武彦倶楽部

久留島武彦倶楽部ホームページ

武彦翁の口演童話の素晴

らしさを広めようと、大分県内外の研究者、歴史愛好家らが2007年5月に結成したボランティア組織。主宰は玖珠町在住の桑野英司氏。関係著作権者から著作物公開等に関する委任を受け、資料・情報の収集と公開に務めている。関連資料／情報をお持ちの方は、下記事務局へ

〒879-4413

大分県玖珠郡玖珠町塚脇「とんかつ東華」内 久留島武彦倶楽部

## ■オオイトタデジタルブックとは

オオイトタデジタルブックは、大分合同新聞社と学校法人別府大学が、大分の文化振興の一助となることを願って立ち上げたインターネット活用プロジェクト「NAN-NAN(なんなん)」の一環です。NAN-NANでは、大分の文化と歴史を伝承していくうえで重要な、さまざまな文書や資料をデジタル化して公開します。そして、読者からの指摘・追加情報を受けながら逐次、改訂して充実発展を図っていききたいと願っています。情報があれば、ぜひNAN-NAN事務局にお寄せください。



### 久留島武彦翁の口演：あざみの花

2008年1月4日初版発行

編集 久留島武彦倶楽部

制作 川村正敏／別府大学メディア教育・研究センター地域連携部

発行 NAN-NAN事務局

〒870-8605 大分市府内町3-9-15 大分合同新聞社総合企画部内

©久留島武彦倶楽部